

リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

L 「ホンモノの追求」と「人間中心」が創業来のDNA

三城ホールディングスは、「バリミキ」などをチェーン展開する三城、百貨店店舗を中心に展開する金鳳堂、海外14拠点の子会社などで構成される。メガネやその関連商品を扱い、創業来の理念は、「お客様一人おひとりにお合わせる」。個人の好みやライフスタイルに合わせた商品提案を全店で徹底し、熟練の職人が仕上げたオリジナルブランドや、1点もののオーダーメイドメガネには長年の顧客も多い。創業は1930年。多根幹雄氏の祖父・良尾氏が創業者だ。

「紡績会社をリタイアした祖父が、世界恐慌のさなか、兵庫県姫路市に時計店の看板を掲げました。昔は時計の粗悪品も多く、商品を眺めるお客様の目はどこか疑心暗鬼。そんな中、片隅に置いていたメガネを買うお客様は、視界がクリアになって明るい表情で店を後にされる。視力やお顔にお合わせる商品なので、お客様と密着の濃い信頼関係を築くこともできる。父(2代目・弘師氏)はそこに魅力を感じ、メガネを専門に扱うようになったそうです。品質と人間中心のビジネスが、今に受け継ぐ当社のDNAです」

1973年に、初めての海外進出としてパリ店をオープン。18金の中空素材を使ったフレームなど商品そのものの技術開発に加え、お客様のお顔の特徴を分析して最適なデザインを探り出す人工知能搭載シミュレーションシステムなど、テクノロジーの導入が進んだ。

「先日、お客様からこんなご意見をいただきました。「メガネに不具合があったので来店したら、修理してくれた。別の箇所を壊してしまい、今度こそ買い替えかと思って相談したら、そもそも丁寧に修理してくれてうれしかった。でも、高売気がないですね。いかにも当店らしいなと思いました(笑)。お客様の喜びを自分たちの喜びとする。そうした思慮な接客が信頼につながり、長いお付き合いにつながっているのだと思います」

お客様の執事の役割を果たしたい

幹雄氏は20代から専務など要職を歴任。98年から9年間はスイスのジュネーブでグループ企業の資産運用を担い、プライベートバンクや各国の金融関係者と人脈を築いた。

「メガネの会社ですが、将来はお客様の様々な問題解決や夢の実現をお手伝いする執事のような役割を果たせたいと考えています。お客様の中には、老後のお金の心配をされている方もいる。健康不安を抱えている方もいる。資産運用の情報提供や、健康のサポートなど、貢献できることを探していきたい」

投信会社の代表を兼任し、事業拡大を視野に入れる3代目。

「時間の経過とともに世の中を良くしていくかというのが、事業における私の判断基準。また、あえてあまのじゃくになることも大事だと思っています。多数がいいと考えるコンセンサスを疑うということです。困難な道を探るほうが、成長やブレークスルーにつながると思います」

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、多根幹雄さんが語るリーダー論を紹介しています。
<http://adv.asahi.com>
朝日新聞 広告 検索



三城ホールディングス 代表取締役

多根幹雄さん

1959年兵庫県生まれ。84年慶応義塾大学商学部修士課程修了。同年三城(現・三城ホールディングス)入社。88年より専務など要職を歴任。98年から9年間、スイス子会社の執行責任者兼資産運用責任者を務める。2013年クロアチア・アセットマネジメント代表取締役社長(現任)。15年から現職。

多根幹雄さんのおすすめ本棚

『村田昭治のマーケティング・ゼミナール すてきな考え方とこころときめき発想の旅』(国元書房) 村田昭治・著
小泉信三を始めとする慶応義塾の歴代名教授が講義をした、三田山上123番教室を舞台に著者が、塾生たちにその人生を贈った珠玉の最終講義。

『人生を最高に生きる私の方法』(三笠書房) 竹内均・著
物理学の第一線で活躍し、東大名誉教授を務めた著者が、能力を最大に伸ばす方法や、自在に発想できる頭を作る方法、自分を磨く書法などを伝授。

『小林一三 逸翁自叙伝』(日本図書センター) 小林一三・著
都市産業の開拓者として独自のアイデアを次々打ち出し、阪急電鉄、宝塚少女歌劇、東宝映画などを育成した実業家・小林一三が自らの生涯をつづる。

『金融の本領 長期投資の精神と、価値ある人生について』(中央経済社) 澤上廉人・著
金融人生41年。投資に最も必要なイメージと合理性をいかにして会得したのか。金融の本質とは、度派金融の第一人者による痛快無比な金融論。

『奇跡のリンゴ「絶対不可能」を覆した農家 木村秋則の記録』(幻冬舎文庫) 石川拓治・著
絶対に不可能といわれてきたリンゴの無農薬栽培を達成し、長年の極貧生活、壮絶な孤独と絶望を乗り越えたリンゴ農家の感動ノンフィクション。

次で紹介するのは、父からすすめてもらった「小林一三 逸翁自叙伝」です。阪急電鉄や宝塚歌劇団を創業したカリスマ

次は、長期投資のバイオニアとして知られる澤上廉人さんが、自身の足跡や投資に対する考え方を語る『金融の本領』です。澤上さんは、スイスの投資運用会社やプライベートバンクを経て、「一三わかみ投信」を設立しました。普通の生活者が、世の中に貢献している企業に長期投資し、財産を増やす。その裾野を広げることが、日本経済の活性化につながる。そんな信念を持つ澤上さんに、父も私も早くから共感していました。私は10年近くスイスのジュネーブに赴任し、グ

最後に、「奇跡のリンゴ」を紹介したい。著者や登場人物の思いを探り、共鳴するところには赤線を引き、自分の考えを行間に書き込む。そんな父の読書法を私も受け継いでいます。今回は、人間の生き様について対話を楽しんだ本を紹介したいと思います。(談)

R 父から学んだ、対話する読書

若い自分に指針をくれた心の師の集大成

人間とは何か、人間の幸せとは何か、という問いを学生たちに問い続けました。講義では、ご自身の豊富な知識や経験に加え、時代のキーパーソンから得た情報や、惜しみなく伝えてくださいました。村田昭治のマーケティング・ゼミナールです。退任を迎えた村田先生の最終年の講義をまとめた本です。亡くなる前年に刊行された「人財の条件」では、多くの

の経営者のチャレンジや試行錯誤を見つめてきた先生が、その集大成として独自の経営論を語ります。大学生当時、家業を継ぎ発展させることに自信が持てずいた私は、先生からビジネスの指針をもらいました。今は、著書を通じてその教えを反響しています。

次に紹介するのは、物理学者で、科学雑誌「New World」の初代編集長を務めた竹内均さんの「人生を最高に生きる私の方法」です。我が家は竹内先生と交流がありました。父・弘師は化石のコレクターで、「郷里の地域振興に役立ちたい」という祖父・良尾の遺志を継いだ父は、化石を展示する「奥出雲多根自然博物館」を島根県に建設。これに竹内先生が賛同してくださり、何度も奥出雲へ足を運び、講演会を開いてくださいました。私が覚えておるのは、宇宙誕生などに関する深遠なテーマを子どもたちの目線に立ってお話しされる先生の姿、おちゃめなユーモアのある方でもありました。「勤勉、正直、感謝を忘れるな。人生は生涯学習である」と説く本書は、先生の生き方の本。30年近く前に刊行された本ですが、たびたび思い返す心の書です。

父から学んだ、対話する読書



「当社の2代目である父は読書家で、良書と読んだものを次々と私の机に積んでいく。追われるように読むうちに、私も本が好きになりました。会社の書棚にも父の所蔵本があれ、社員たちに読んでもらっています。そう語るのは、3代目の多根幹雄さん。メガネ店の最大手、三城ホールディングスの成長を幼少から見つめ、入社後は要職を担ってきた。

ためない練習

大ベストセラー 第2弾!!

◆「ためない暮らし」が自由な人生を作る
◆すべて捨てても「縁の力」は残ります
◆見栄や虚勢をためこんでしまおうと……
◆二度選んだ物を、もっと大事にする
◆心が疲れたときは「期待」を減らしてみよう
◆友達を「ためこもう」としてはいませんか?
◆生き方にも「アソビ」を持て

元結不動 密蔵院住職 名取芳彦

それは、あなたに必要ない。

22万部突破!

「仏教は、いい人になれなんていってません」

ISBN978-4-8379-8388-0 ●定価(本体590円+税)

千代田区飯田橋3-3-1
●詳細は⇒<http://www.mikasashobo.co.jp>
●(株)ブックライナー(フリーダイヤル)0120-398999
(9:30~19:00)からもご購入いただけます。

三笠書房BOOKSTOREで立ち読みができます!!
<http://www.mikasabooks.jp>

名著「代表的日本人」を読む

日本とは何か、そしてどう生きるか

内村鑑三 石井寛「訳」

「NHK Eテレ」
「100分de名著」で話題!
日本人が絶対に読んでおきたい珠玉の書!

攻撃的な人・迷惑な人・あの人に賢く「言い返す」技術

片田珠美

人に強くなる「コミュニケーション」

7万部突破!

「食べ合わせ」で老化に勝つ

40歳からは食べ方を

変えなさい!

18万部突破!

医学博士 済陽高穂

2015年第6位 実用書部門(ノンフィクション)

「人生が劇的に軽くなる」と言

FUCK IT

「FUCK IT」は「知ったことか!」「だから何!」「もうええわ!」などを意味する言葉。

知的生きかた文庫